

ムシ菌菌が感染するって、ご存知ですか？

ムシ菌菌は母親や家族から子どもへと感染します。

子どもの歯が萌えそろう19～31ヶ月の間（2歳前後）にスプーンなどについた母親・家族の唾液を介し、ムシ菌菌は定着するのです。

もしも、母親・家族のお口がムシ菌だらけだったとしたら…？

子どもは生涯そのムシ菌菌とつき合っていくことになるでしょう。

よく、「私が歯で苦労したから、子どもには同じ道をたどって欲しくない」という声を聞きます。

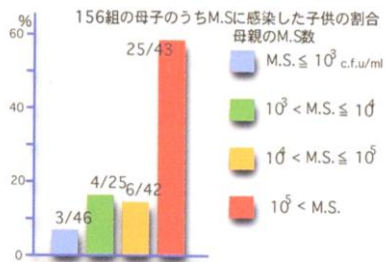
***それにはまずお母様・ご家族の方のお口の中を知っていく必要があります。**

” ムシ菌菌を放ってはいませんか？ “

” 毎日のプラークコントロールはきちんとできていますか？ “

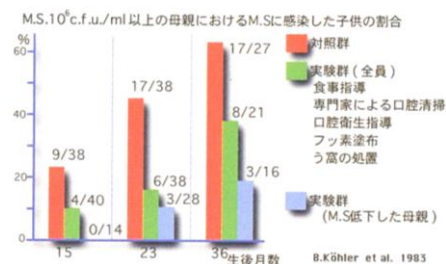
” 定期的な検診・クリーニングを受けていますか？ “

ムシ菌菌の母から子への感染



母親の口腔内のムシ菌菌が多ければ
多いほど感染率が高くなっています

ムシ菌菌の母から子への感染



ムシ菌菌に感染している母親の口腔内を
清潔にすることで、子供への感染を減少
させることができます

これらの確実な指標として、ムシ菌菌のリスクを調べるカリエス・リスク検査があります。

検査は、ごく簡単なもので、ご自身の唾液から検査することができます。

ムシ菌菌の数・唾液の大切な働き・食生活を知ること、**ご自身に合ったムシ菌菌予防の方法を知ることができます。**

★感染症であるムシ菌菌の予防を考えるには、お子様とお母様、ご家族全員のムシ菌菌のリスクを知ることが大切です。

Srendipity dentistry かわさと歯科

06-6344-5535

www.kawasato-do.jp

